

行動を通してみた

札幌市の環境問題の解決策

くるまをとめておくと、エンジンを止めておくと、1時間に4万リットルの排気を出します。

くるま1台が出す二酸化炭素は杉の木であれば160本もないと吸収できません。

人は生活のために二酸化炭素(CO₂)を排出します。このCO₂を樹木などの「みどり」が吸収してくれます。CO₂の吸収量より排出量が多くなると、地球はCO₂に囲まれて温室に入ったようになり(温室効果)、気温が上がります(地球の温暖化)。

その結果

- ① 砂漠が広がって、食糧が不足することがおそれられます。
- ② 水がとけて海面上がりがり、住居や小さな島が沈みます。

地球が美しいまのうちに温暖化をふせぎましょう。それは、わずかなことでも、ひとりひとりの努力の積み重ねでできるのです。

札幌市環境保全協議会 2004.6

2004年6月

第4次札幌市環境保全協議会